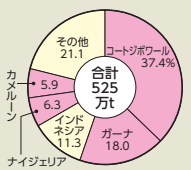


デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.88-89 特定の輸出品に頼るアフリカの経済
2. 目標 (1) アフリカ州では輸出作物の栽培や鉱産資源の開発が盛んであることを、資料の読み取りから理解できる。
(2) 特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼った経済の問題点を考察することができる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ アフリカ州で栽培されている農作物の特色を理解し、それらが栽培されている背景を自然環境や歴史を踏まえて理解している。 ・ アフリカ州では、多くの国々が特定の農作物や鉱物資源の輸出に頼っていることを理解している。
思考・判断・表現	・ 資料を活用し、モノカルチャー経済の問題点を考察し、まとめている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「カカオの実からカカオ豆を取り出す農家の人々」を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 輸出用の作物を作っている理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.88 1 手に持っている黄色い作物は何だろうか。また、それは何のために栽培されているのだろうか。 自分たちが口にすることのない作物を栽培しているのはなぜだろうか。	○ カカオ豆を取り出す作業の動画を見せながら、本時への導入を図る。 ○ カカオ豆から何が作られるのか、何のために栽培されているのかなどについて考えさせ、自由に発表させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
	学習課題：アフリカ州の産業にはどのような特色があり、そこにはどのような課題があるのだろうか。		
展開	3. アフリカ州では、熱帯作物や鉱産資源の産出が盛んなことを理解する。 (1) 農産物	 p.88 2 カカオ豆の生産量が多い国の特色を考えてみよう。  「アフリカ州の土地利用と植生」 カカオ豆や茶、コーヒーを生産する目的は何だろうか。	○ カカオ豆の生産が多い国の共通点を挙げさせる。 ◆ 赤道に近い熱帯気候の国々が上位を占めていることや、生産量の半分以上がアフリカで生産されていることを理解させる。 ○ 資料から、アフリカ州で生産されている農産物を確認させ、カカオだけではなく、ケニアの茶やエチオピアのコーヒーなどにも注目させる。 ◆ アフリカ州では多くの輸出作物が栽培されていることに気付かせる。

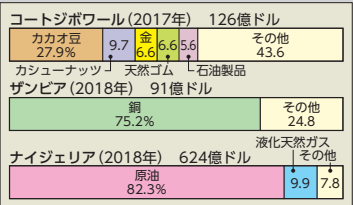
(2) 鉱産資源



p.89 4

国名	鉱産資源
ボツワナ	ダイヤモンド
ザンビア	銅 コバルト
ナイジェリア	原油 天然ガス

どのような鉱産資源が採れるのか調べてみよう。

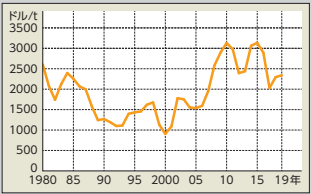


p.89 6



p.88 3

輸出品目に共通する特色を挙げてみよう。



p.89 7

グラフを参考に、コートジボワールの抱える課題を考えてみよう。



p.89 5

フェアトレードには、どのような意味があるのだろうか。

(2) フェアトレード
の役割

5. 本時のまとめをする。

特定の産物の輸出に頼りすぎることによる問題を説明しよう。

6. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

○ 学習プリントを活用し、ボツワナ、ザンビア、ナイジェリアの主な鉱産資源をまとめさせる。
◆ ほかの国にも目を向けさせながら、多様な鉱産資源が産出されていることに気付かせる。
○ コバルトやプラチナなどの具体的な名前を出しながらレアメタルが産出されていることを確認する。

○ アフリカの国々の輸出品の特色を考えさせる。
◆ 農産物と鉱産資源が輸出のほとんどを占めており、ザンビアは銅、ナイジェリアは原油だけで輸出額の7割以上を占めていることに気付かせる。

○ 輸出が一つの品目に偏ることの問題点をグラフから考えさせる。
◆ カカオ豆の価格は変動が大きく、収入が一定しないなどの問題があることに気付かせる。
◆ ほかにモノカルチャー経済によって生じる課題がないか考えさせる。

◆ フェアトレードの意味を理解させ、農産物の価格の安定や農家の生活に役立っていることを理解させる。

◆ 天候によって生産量が不安定になったり、価格の変動の影響を受けたりすることで、国の経済が不安定になりやすいことなどを説明できるか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。